

令和6年度 立川市立第十小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎すこやかな子 ○思いやりのある子 ○考える子
---------	-------------------------------

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
◎他者の考えを踏まえながら、自らの考えを深め、判断し、表現できる力（問題解決力） ○相手の気持ちや立場を考え、行動できる力（人間関係形成力） ○自分の体や心を大切にし、すすんで運動する力（実践力）	・各教科で「自分の考えを伝え合う」場面や課題を意図的に設定する。 ・自分の言葉でまとめ、考えを発表する経験を重ねていく。 ・自らの学習を調整できるように、数種類の学習方法や知識の定着を図る方法を、自己選択できるようにする。 ・自らの学習状況を振り返り、今後の学習に生かせるようにする。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	○主体的に学習する力 ○対話を通して、相互比較する力 ○学習したことを活用する力	・繰り返し漢字指導を行い、定着を図りつつ、自主学習ノートに自主的に学習できるようにする。 ・学習した言語事項を、作文などの文の中で活用できるようにする。 ・自分の考えを書き、伝え合う活動を設定し、自分の考えと比べながら話し合いに参加できるようにする。 ・児童が感じた疑問や感想を用いて、導入・課題づくり・展開・振り返りをさせ、意欲的に学習に取り組めるようにする
社会	○資料を読み取り、活用する力 ○対話を通して、多様な考えに気付く力 ○体験活動等により、日常生活との関連に気付く力	・資料から情報を正確に読み取り活用できるよう、授業の中で時間的・空間的な視点を意図的に与え、身に付けられるようにする。 ・ICT 機器を活用し、情報を取捨選択し、友達との意見交換をするなど、多様な考え方に触れる機会を設定する。 ・資料から読み取った内容と既習事項を結び付けて考えられるようにする。 ・立川市民科との関連を図り、地域調べなどの地域を生かした学習を通して、日常生活と関連付けられるようにする。 ・体験活動を取り入れ、より理解や興味を深められるようにする。
算数	○視覚、体験を通して気付く力 ○主体的に自己の課題を見付け、取り組む力 ○対話を通して、様々な考えに気付く力	・数、式、図、表、グラフ等を活用して、視覚的に理解できるようにし、根拠を基に道筋を立てて考えられるようにする。また、具体物や ICT 機器を活用し、問題の場面を身近な事象として捉え、日常生活に生かせるようにする。 ・自分の考えを友達に説明したり、友達の説明を聞いたりするなど、表現し、伝え合う時間を確保し、児童同士の交流の場を増やす。 ・児童自ら課題をもち、その課題を解決する学習方法を定着させるために繰り返し取り組み、振り返りと結び付けて学習を深められるようにする。
理科	○実物や映像・画像から発見する力 ○「予想・実験や観察・結果」から考察する力 ○実験などの体験を通して、様々な事象・現象に興味・関心をもつ力	・ICT 機器を用いて映像や画像を提示し、事物・現象に対して、原因との因果関係を示し、理解につなげる。 ・実験で調べた結果を表やグラフに表し、予想と照らして、結果や分かったことを話し合ったり、一定のきまりを見付けたりできるようにする。 ・具体物や動画・写真を精選し、児童の関心が高まるようにする。 ・観察・実験を通して具体物、本物に触れ、体験することで、興味・関心をもたせる。 ・実体験が難しい学習に関しては、動画視聴をし、よりリアルに迫れるようにする。
生活	○実体験を通して、様々な人とコミュニケーションを図る力 ○ものづくりを通して、気付く力 ○自ら伝える力	・地域の方や専門家の方などと直接コミュニケーションを図ることで、学校生活はたくさんの人々が関わっていることに気付かせるようにする。 ・体験して感じたこと、気付いたことなどを交流し合う場を多く設定する。 ・遊びの道具やおもちゃ等を試行錯誤して作る活動を設定し、自ら気付く力を高める。 ・体験活動を多く取り入れ、体験と結び付いた表現活動を充実させることで、意欲的に話し合い活動に参加できるようにする。

音楽	<p>○試しながら工夫し表現に生かす力</p> <p>○交流を通して高め合い、認め合う力</p> <p>○自己評価を通して、新たな課題を見いだす力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法について考え、何回も試しながら工夫し、よりよい表現へとつなげていける場を設定する。 ・互いに聴き合ったり一緒に確かめ合ったりしながら、認め合い、高め合い、表現等に自信をもたせるようにしていく。 ・振り返りの時間を設け、活動したことや自分が工夫したことなど、めあてに沿って振り返り、次の時間につなげられるようにする。
図画工作	<p>○材料や用具について考える力</p> <p>○自分のイメージを表現する力</p> <p>○自己評価を通して、新たな課題を見いだす力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具と関わる時間を十分に確保し、形や色などの特徴に気付かせたり、造形的活動の経験を積みせたりする。 ・ICT 機器を活用してヒントを得られるようにして、形や色、言葉など視覚的に表し、自分のイメージや考えを確かめたり捉え直したりしながら活動を進められるようにする。 ・ワークシートや振り返りシートを使用し、達成感を味わったり、自分の課題を見つめて改善したりすることができるようにする。
家庭	<p>○実践を通して、知識や技能を高める力</p> <p>○対話を通して、考えを深める力</p> <p>○自分で計画し、振り返る力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや動画等を活用して、道具や用語、技能のポイントなどについての知識を定着させる。 ・実践を通して、技能を高められるようにする。 ・具体的な実践を文章や写真、動画で表し、伝え合う場面を設定することで考えを深められるようにする。 ・計画・準備時間を設け、仕上がりの見通しをもたせた上で実践活動に取り組ませる。 ・作品、料理についての感想を交流し、振り返る時間を設ける。
体育	<p>○日常的に運動に親しむ力</p> <p>○自己の課題に合った方法を選択する力</p> <p>○健康と安全について考え、実践する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストで課題になっている項目（立ち幅跳び・ソフトボール投げなど）を向上させるために、体育の授業のみでなく2020レガシーとして「十輪ピック（十小体力向上のための取組）」を年に5回行い、運動に取り組むことができるようにする。 ・身近な生活を振り返り、健康・安全についての学習課題を発見し、自分の生活に生かせるようにする。 ・技能のポイントが分かる資料の提示をし、課題が明確になるようにして、自分に合った課題を見付け運動できるようにする。 ・気付いたことを伝え合い、技能向上を図れるようにし、個々の特性に合った場や用具を適切に選べるようにする。
外国語活動・外国語	<p>○外国語に親しもうとする力</p> <p>○外国語で思いや考えを伝え合おうとする力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の表現を繰り返し使えるような場面設定を行う。 ・外国語で表現するための語彙を増やしていく。ALTに積極的に尋ねさせたり、インターネットの辞書機能を積極的に活用できるようにする。 ・単元の終末を、児童にとって必然性・達成感のある内容にする。 ・反応例を中心に、指導者がクラスルームイングリッシュを積極的に用いることで、児童も同様の表現を自主的に使えるようにする。 ・アルファベットや、十分に慣れ親しんだ言葉を書くことについて、無理なく取り組めるようにする。 ・毎時間アルファベットダンスを取り入れ、よりアルファベットに慣れ親しみ、身近なものとして覚えられるようにする。